

第2回病院連絡会結果の概要（南河内二次医療圏）①

1 第2回病院連絡会の参加状況と病院プラン等^{※1}の提出状況

【第2回 南河内医療・病床懇話会資料 更新版】

保健所名	公立・ 公的・ 民間等	対象 ^{※2} 病院 数 (A)	出席病院数 (B)	参加率 (B)/(A)	病院プラン提出 病院数 (C)	提出率 (C)/(A)	病院プラン調査未定出病院 (第2回病院連絡会開催時点)
藤井寺 保健所	公立	2	2	100.0%	2	100.0%	
	公的	0	0		0		
	民間等	12	12	100.0%	12	100.0%	
	合計	14	14	100.0%	14	100.0%	
富田林 保健所	公立	0	0		0		
	公的	3	3	100.0%	3	100.0%	
	民間等	17	17	100.0%	17	100.0%	
	合計	20	20	100.0%	20	100.0%	
合計	公立	2	2	100.0%	2	100.0%	
	公的	3	3	100.0%	3	100.0%	
	民間等	29	29	100.0%	29	100.0%	
	合計	34	34	100.0%	34	100.0%	

※1: ※公的医療機関等2025プラン、新公立病院改革プランにかかる補足調査、将来に向けた病院のプランに関する調査

※2: 病院連絡会の対象は、病床機能報告対象病院

第2回病院連絡会結果の概要（南河内二次医療圏）②

2 将来のあるべき姿の到達度を測定する指標（案）・病床機能分化の方向性に対する見解

【将来のあるべき姿の到達度を測定する指標（案）】

近畿大学医学部附属病院による移転の影響を考慮しなければならないが、概ね認識の共有を図った。

【病床機能分化の方向性に対する見解】

- ・近畿大学医学部附属病院跡地に新設される病院についての情報共有、協議の場が必要である。
- ・近畿大学医学部附属病院の移転に伴う影響が明確になってから、今後の議論を行ってほしい。
- ・急性期病院の在院日数が短縮傾向にあるため、回復期機能に急性期からの受け皿的機能（高度回復期的機能）が必要である。
- ・回復期リハビリテーション病床少なく今後も必要である。
- ・地域包括ケア病床は今後も必要となる。

3 公立病院・公的病院・民間等病院（2025年に向けて病床機能転換の予定のある病院・非稼働病床を有する病院・プランに将来の病床機能、病床の運用状況の報告しない病院）の一覧（南河内二次医療圏）

区分	保健所	市町村	医療機関名	第2回病院連絡会出席状況	第2回病院連絡会でプラン内容を修正報告	許可病床数（一般・療養）	2025年に向けた病床機能・病床数等の変更予定の有無										非稼働病床について（一般病床・療養病床）		2025年に向けた病床機能・病床数等の変更、非稼働病床を有する理由の説明に対して、当該病院に対する他病院からの意見	
							（転換数）高度急性期	（転換数）急性期	（転換数）回復期	（転換数）慢性期	（転換数）合計	介護医療院への転換	介護老人保健施設への転換	その他介護施設・福祉施設への転換	第2回病院連絡会以後の転換予定病床	【プラン・連絡会での病院の説明】		非稼働病床数（許可病床数-稼働病床数）		【プラン・連絡会での病院の説明】 病床を稼働していない理由（非稼働病床を有する理由）
																機能変更（予定）時期	具体的なプラン			
1 公立	藤井寺保健所	羽曳野市	地方独立行政法人大阪府立病院機構 大阪はびきの医療センター	○		396	0	0	0	0	0						—	—	—	
2 公立	藤井寺保健所	藤井寺市	市立藤井寺市民病院	○		98	0	0	0	0	0				—	医師会と協力し、感染症や災害医療に取り組む。小児科5床は維持していきたい。急性期を中心に担っていく。	0	—	—	
3 公的	富田林保健所	富田林市	富田林病院	○		300	0	▲28	0	0	▲28				2021年12月	2021年に新病院開院し、現行300床から260床に減床の予定。急性期～回復期の医療機能を持ち、地域に密着した医療を行っていく。	12	お産センター開設のため病棟改修および病院の老朽化により使用しない部屋がある。新病院1期工事の完了（2020年）により解消。	—	
4 公的	富田林保健所	河内長野市	独立行政法人国立病院機構 大阪南医療センター	○		430	0	0	0	0	0				—	病床機能は現状維持。急性期医療を行う地域の基幹病院としての機能を担っていく。災害医療は、院内での訓練・研修を積み重ねていく。	2	看護師の配置の関係でICUの病床を使えていない。今後、看護師の数を調整して稼働させたい。	—	
5 公的	富田林保健所	大阪狭山市	近畿大学医学部附属病院	○		919	▲119	0	0	0	▲119				2023年4月	医学部移転計画にともない、現地から堺市泉が丘地区への移転を計画している。移転後も救急、災害、がん、周産期の南河内における拠点病院の機能と南大阪地域の高度医療を担っていく。	0	—	—	
6 民間等	藤井寺保健所	羽曳野市	医療法人はあつる運動器ケアしまだ病院	○		88	0	45	▲45	0	0				未定	手術ニーズに対応するため、地域包括ケア病床（回復期）45床を一般病床7対換（急性期）へ変更を検討している。	0	—	—	
7 民間等	藤井寺保健所	羽曳野市	医療法人昌円会 高村病院	○	○	175	0	17	38	▲55	0				未定	整形外科を主診療科として運営していく。医療療養（慢性期）17床・障害者病床（慢性期）38床を、一般病床10対1（急性期）17床・地域包括ケア病床（回復期）38床へ転換を予定。	0	—	—	
8 民間等	藤井寺保健所	松原市	社会医療法人垣谷会 明治橋病院	○		396	0	0	60	▲240	▲180				未定	介護療養病床（慢性期）240床をの一部（60床）を回復期リハビリテーション病床に転換を図る予定。	0	—	—	
9 民間等	藤井寺保健所	藤井寺市	医療法人ラポール会 青山病院	○	○	125	0	▲7	58	▲42	9				2020年度	法人3病院を4病院に再編し、法人全体として回復期病床を増やす。在宅医療に力を入れていく。（参考：地域包括ケア病床（急性期）7床・医療療養（慢性期）42床を、回復期リハ（回復期）17床・地域包括ケア（回復期）41床へ転換予定）	0	—	—	
10 民間等	富田林保健所	河内長野市	医療法人 敬任会 岡記念病院	○	○	99	0	▲28	28	0	0				2020年4月頃	大阪南医療センター敷地内に新病院移転予定。一般病床13対1（急性期）23床・障害者病床（急性期）5床を、地域包括ケア病床（回復期）28床へ病床機能転換を予定。急性期病院からの在宅復帰に向けた患者の受け入れを進めていく。	0	—	—	

3 公立病院・公的病院・民間等病院（2025年に向けて病床機能転換の予定のある病院・非稼働病床を有する病院・プランに将来の病床機能、病床の運用状況の報告がない病院）の一覧（南河内二次医療圏）

区分	保健所	市町村	医療機関名	第2回病院連絡会出席状況	第2回病院連絡会でプラン内容を修正報告	許可病床数（一般・療養）	2025年に向けた病床機能・病床数等の変更予定の有無										非稼働病床について（一般病床・療養病床）		2025年に向けた病床機能・病床数等の変更、非稼働病床を有する理由の説明に対しての、当該病院に対する他病院からの意見		
							（転換数）高度急性期	（転換数）急性期	（転換数）回復期	（転換数）慢性期	（転換数）合計	介護医療院への転換	介護老人保健施設への転換	その他介護施設・福祉施設への転換	第2回病院連絡会以後の転換予定病床	【プラン・連絡会での病院の説明】		非稼働病床数（許可病床数-稼働病床数）		【プラン・連絡会での病院の説明】 病床を稼働していない理由（非稼働病床を有する理由）	
																機能変更（予定）時期	具体的なプラン				
11 3 民間等	富田林保健所	大阪狭山市	医療法人正雅会 辻本病院	○		99	0	▲ 25	30	▲ 5	0					○	未定	障害者病棟（急性期）25床・医療療養（慢性期）5床を、地域包括ケア病棟（回復期）30床へ転換を予定。 現状同様、サブアキュート～慢性期、在宅医療を担っていく。 可能な範囲で左記のとおり回復期へ転換を図った。さらに病床機能の充実を図るため、建替え検討中。	0		—
12 3 民間等	富田林保健所	富田林市	一般財団法人成研会 結のぞみ病院	○		60	0	0	0	▲ 6	▲ 6						2018年8月	今年8月、医療療養病床（慢性期）60床を新病院開設とともに54に減床済。 精神科病床は344床。 認知症治療、精神救急や術後の精神ケア、身体合併症のある患者等への対応を継続していく。	0		—
13 3 民間等	富田林保健所	河内長野市	医療法人ラポール会 青山第二病院	○	○	120	0	▲ 16	0	▲ 53	▲ 69						2021～2022年	法人3病院を4病院に再編し、全体で病床数及び機能を変更、充実させる。左記転換数は予定で、今後の調整で変更の可能性あり。 （参考：一般病棟10対1（急性期）26床・医療療養（慢性期）53床を、地域包括ケア（急性期）10床へ転換予定） 療養病床の中でサブアキュート、ポストアキュートの機能を担い、在宅医療についても進めていく。	0		—
15 3 民間等	藤井寺保健所	松原市	医療法人徳洲会 松原中央病院	○		60	0	31	0	0	31						—	今後も急性期として60床を運営していく。 松原徳洲会と共に建替え等再編を検討していく。	31	職員の減少により稼働していないが、職員の確保が出来次第稼働予定。	—
14 3 民間等	富田林保健所	大阪狭山市	医療法人 恒昭会 青葉丘病院	○		324	0	0	0	6	6						—	他に精神病床が357床あり、病床の合計は681床。 身体合併症を持つ精神疾患患者の受け入れを行っており、今後外科医師の配置により、気管切開や胃ろうについても対応できるよう計画を進めている。	6	各病棟に1床ずつ、精神疾患合併患者の感染症罹患時や興奮状態になった場合に一時的に隔離することが必要なため、確保している病床。	—
16 3 民間等	富田林保健所	富田林市	医療型障害児入所施設 四天王寺和らぎ苑	○		110	0	0	0	0	0						—	重症心身障がい児を中心に診療。今後も、ショートステイ等福祉サービスの提供や緊急受け入れもできるよう努力していく。	10	10床は障がい福祉サービス事業のための病床で、医療保険請求外。うち6床は常に稼働。	—

【参考】南河内二次医療圏全体の病床機能別検討状況

	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	合計
公立	0	0	0	0	0
公的	▲ 119	▲ 28	0	0	▲ 147
民間等	0	17	169	▲ 395	▲ 209
全体	▲ 119	▲ 11	169	▲ 395	▲ 356

第2回病院連絡会結果の概要（南河内二次医療圏）③

4 その他南河内二次医療圏の医療体制に対する意見

2025年の各病院の機能を検討しているが、いったん急性期から回復期、慢性期に機能を転換するとマンパワーや設備整備の面で再度急性期に戻すことは難しいと懸念する。

5 その他（2025年に向けて病床機能転換の予定のある病院・非稼働病床を有する病院・プランに将来の病床機能以外）病院に対する意見・質問と回答

区分	保健所	市町村	医療機関名	第2回病院 連絡会 出席状況	許可病床 数 (一般・ 療養)	その他病院からの説明	病院に対する質問	質問に対する回答
17 3 民間等	藤井寺 保健所	松原 市	医療法人邦英会 寺下病院	○	72	現状維持。	—	—
18 3 民間等	藤井寺 保健所	松原 市	社会医療法人阪南医療福 祉センター 阪南中央病院	○	235	2018年から199床に減床。 小児科32床を維持。 周産期医療に力を入れていく。	—	—
19 3 民間等	藤井寺 保健所	松原 市	医療法人徳洲会 松原徳洲会病院	○	189	急性期を担っていく。 周産期科を新設し、阪南中央病院と連携しながら妊婦健診を 行っていく。	—	—
21 3 民間等	藤井寺 保健所	羽曳 野市	医療法人愛幸会 天仁病院	○	153	現状維持。	—	—
20 3 民間等	藤井寺 保健所	羽曳 野市	医療法人春秋会 城山病院	○	299	急性期を中心に担っていく。 肺炎等のサブアキュートにおける救急医療を担っていく。	—	—
23 3 民間等	藤井寺 保健所	藤井 寺市	医療法人医仁会 藤本病院	○	177	現状維持。 訪問診療・訪問リハ、在宅医療に力を入れていく。	—	—
22 3 民間等	藤井寺 保健所	藤井 寺市	医療法人ラポール会 田辺脳神経外科病院	○	50	今後も脳神経外科、神経外科の救急受入や急性期を担ってい く。	—	—
24 3 民間等	富田林 保健所	富田 林市	医療法人宝生会 PL病院	○	370	現状の方針を維持。 救急（小児含む）をはじめ、地域や患者のニーズに対応してい く。	亜急性期～慢性期の患者の貴院への紹介は可 能か？	医師数によって難しいこともあるが、相談いただきたい。
25 3 民間等	富田林 保健所	富田 林市	富田林田中病院	○	30	病床機能は現状維持。 今後、圏域内での建替え・移転を検討したい（時期未定）。	—	—

5 その他（2025年に向けて病床機能転換の予定のある病院・非稼働病床を有する病院・プランに将来の病床機能以外）病院に対する意見・質問と回答

区分	保健所	市町村	医療機関名	第2回病院 連絡会 出席状況	許可病床 数 (一般・ 療養)	その他病院からの説明	病院に対する質問	質問に対する回答	
26	3 民間等	富田林 保健所	富田 林市	医療法人正清会 金剛病院	○	60	現状の方針を維持。 建物の改築・新築移転を具体化していきたい。	—	—
27	3 民間等	富田林 保健所	河内 長野 市	医療法人 孝仁会 澤田病院	○	64	強化型在宅支援病院としての機能をより進めていく。 建替え計画を具体化していきたい。	—	—
28	3 民間等	富田林 保健所	河内 長野 市	医療法人生登会 寺元記念病院	○	160	現体制を維持。 急性期医療を担い、初期・二次救急では、広くさまざまな病態の 患者に対応していく。	—	—
29	3 民間等	富田林 保健所	河内 長野 市	医療法人生登会 てらもと医療リハビリ病院	○	132	現体制を維持。 高齢終末期患者が多く、緩和ケアとADL維持のためのリハビリ機 能を中心としていく。	—	—
30	3 民間等	富田林 保健所	河内 長野 市	医療法人弘生会 老寿サナトリウム	○	281	現体制を維持。 4、5年前よりレスパイト入院受入れをスタートし、医療依存度 の高い患者の受入れも継続していく。	—	—
31	3 民間等	富田林 保健所	河内 長野 市	医療法人 博我会 滝谷病院	○	93	2019年中に、医療療養病棟2（71床）を医療療養病棟1 に変更し、介護療養病棟（22床）も医療療養病棟への変更 を目指している。 時期は未定だが、新築移転を含め建て替え計画を具体化し、 医療療養病棟93床のうち36床を一般病床へ変更したいと考 えている。その機能については障害者病棟15：1（慢性期） もしくは一般病床15：1（慢性期）への移行としたい。 地域に貢献できる医療機能を検討していきたい。	—	—
32	3 民間等	富田林 保健所	大阪 狭山 市	医療法人 恒尚会 兵田病院	○	81	現状の方針を維持。 療養病棟の中で緩和ケアについて継続実施していく。	—	—
33	3 民間等	富田林 保健所	大阪 狭山 市	社会医療法人さくら会 さくら会病院	○	147	現体制を維持。 脳外科、整形外科、内科、リハ科に特化しており、他疾患合併 の患者については近隣医療機関に依頼。	—	—
34	3 民間等	富田林 保健所	大阪 狭山 市	医療法人樫本会 樫本病院	○	199	サブアキュート～慢性期、在宅医療を今後もバランスよく提供し ていく。 地域のニーズ等今後の展開により、病床機能の検討が必要であ ると認識。緩和ケアや初期～2次救急にも引き続き対応してい く。	—	—

※太字は、第2回南河内医療・病床懇話会開催後に提出のあった病院プランの内容